

【所沢市】 校務 DX 計画

○本計画は、「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト（令和 5 年 9 月）」による自己点検の結果を踏まえ、作成しています。

■クラウド環境を活用した校務 DX について

（1）FAX でのやり取り、押印の廃止

現状の FAX でのやり取りについて、緊急連絡や訃報連絡等、FAX が有効で効率的な場合を除き、クラウドサービスや統合型校務支援システムのグループウェアツール等の活用を進め、廃止に向けて検討を行います。

（2）校務でのクラウド環境の活用

校内での資料作成や情報共有について、クラウド環境や各種アプリケーションを活用し、非同期型のコミュニケーション及び協働を推進します。また、令和 6 年度に導入した保護者連絡ツールにより、欠席等の連絡、学校や教育委員会からの便りの配布、アンケートの実施を行っています。今後も更なる活用を促進し、業務の効率化を推進します。また、職員会議や校内研修において、資料のペーパーレス化とデジタル化を一層進めます。

■統合型校務支援システムについて

（1）統合型校務支援システムの更新

平成 27 年度に導入した校務支援システムは、令和元年度に統合型校務支援にシステムに更新しました。令和 7 年度の更新に際しては、現行の統合型校務支援システムへの機能追加を行います。また、令和 9 年度の教育ネットワーク更改に向けて、校務支援システムのクラウド化を行う予定です。

■教職員向け研修会の在り方について

（1）研修会のオンライン化と資料のデジタル化

教育委員会主催の研修において、教員の働き方改革を踏まえ、効率的な研修を実施するため、引き続き、収集型・オンライン型・オンデマンド型といった参加形態を工夫したり、組み合わせてハイブリッド型にしたりしていきます。その際、クラウド上に研修資料を事前に配布し、閲覧できるようにすることによって、資料のペーパーレス化と教員の負担軽減を更に促進します。